

学 び 創 造 ア ク テ ィ ブ

未来を切り拓く 確かな学力の育成

子供たちは「できるようになりたい、よくなりたいたい」と願っている

必要感 達成感

自己肯定感

未来を切り拓く力

学校

- 1 主体的・対話的で深い学びの充実**
 - ・ 単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した授業計画
 - ・ 各教科等の特質に応じた言語活動
 - ・ コンピュータ等を活用した学習活動
 - ・ 体験活動の体系的・継続的な実施
 - ・ 各種学力調査結果の分析と活用
- 2 自己肯定感を高める支援・指導**
 - ・ 「自己存在感」「共感的人間関係」「自己決定」を意図した指導
 - ・ 道徳教育の充実
 - ・ 児童生徒に寄り添う見届け、称賛、励まし
 - ・ ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業づくり
- 3 授業の質の向上**
 - ・ 学びたくなる「めあて」 ・ 課題解決に向けた「見通し」
 - ・ 考えが広がり、深まる「学び合い」(思考の可視化・操作化)
 - ・ 学んだことを理解確認する「まとめ」
 - ・ 自分の学びを捉え直す「振り返り」



家庭

- 1 家庭学習の定着**
 - ・ 復習予習による学習の定着
 - ・ 励ましや称賛による声かけ
- 2 家庭で語らう時間づくり**
 - ・ 家族の中での役割分担
 - ・ メディアとの付き合い方
 - ・ 早寝・早起き・朝ごはん
 - ・ 家読(うちどく)の推進

地域

- 1 持続可能な社会の創り手の育成**
 - ・ 地域教育資源・人材の活用
 - ・ 子供たちの地域行事への参加
 - ・ あいさつ運動の推進
 - ・ 地域の一員としての自覚の醸成
- 2 異校種間連携の推進**
 - ・ 幼保小連携の推進
 - ・ 小中高連携の推進

【所沢市の基本理念】 みんなが持っている三つの“宝”を掘り起こして大きく育てます
一 心身のたくましさ 二 未来を拓く知恵 三 ふるさと所沢を愛する心

『学び創造アクティブPLUS』とは？

令和2年度より『学び創造アクティブPLUS』をスタートします。
『PLUS』には、「さらに・前向きに」という思いが込められています。
この『学び創造アクティブPLUS』では、『学び創造アクティブプラン』
(平成29年～令和元年)の基本理念を継承し、各学校において取り組んできた授業改善をさらに一歩前進し、子供たちが未来に向かって夢をもって前向きに歩めるように支援を進めていくものです。

行動方針 3つの柱



- 柱1 児童・生徒の『必要感・達成感』を大切にします。
- 柱2 児童・生徒の『自己肯定感』を高めます。
- 柱3 児童・生徒の『未来を切り拓く力』を育成します。

柱1 児童・生徒の『必要感・達成感』を大切にします。

一人一人の学力を伸ばす教育の推進や新しい時代に求められる資質・能力の育成を図るためには、児童・生徒自らが「やってみたい、わかった、できた」と感じる必要があります。教員一人一人が授業改善に取り組み、授業の「質」を向上させることが求められています。

柱2 児童・生徒の『自己肯定感』を高めます。

県学力・学習状況調査から「学習規律の定着など落ち着いた学級づくり」と「学力・非認知能力・学習方略」には強い相関関係があることが分かってきました。一人一人の学びを高めるためには、日々安心して生活できる環境をつくること、自己がかけがえのない存在であると実感できることが大切です。

柱3 児童・生徒の『未来を切り拓く力』を育成します。

学習指導要領には、「豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となること」が示されています。また、第2次所沢市教育振興基本計画にも、E S Dの視点が明記され、「既存の価値にとらわれない柔軟な発想の持ち主になってほしい」「変化の激しい社会を生き抜いてほしい」という願いが込められています。予測困難なこれからの時代には、未来を切り拓く力を育成することが求められています。